

2010年3月期第2四半期決算説明会

電気興業株式会社
2009年11月20日

1. 上期決算ハイライト

2. 主要3事業の動向

3. 全体業績見通し

1. 上期決算ハイライト

移动通信：第3世代向け設備投資需要が一巡

放送：放送事業者による設備投資需要が継続

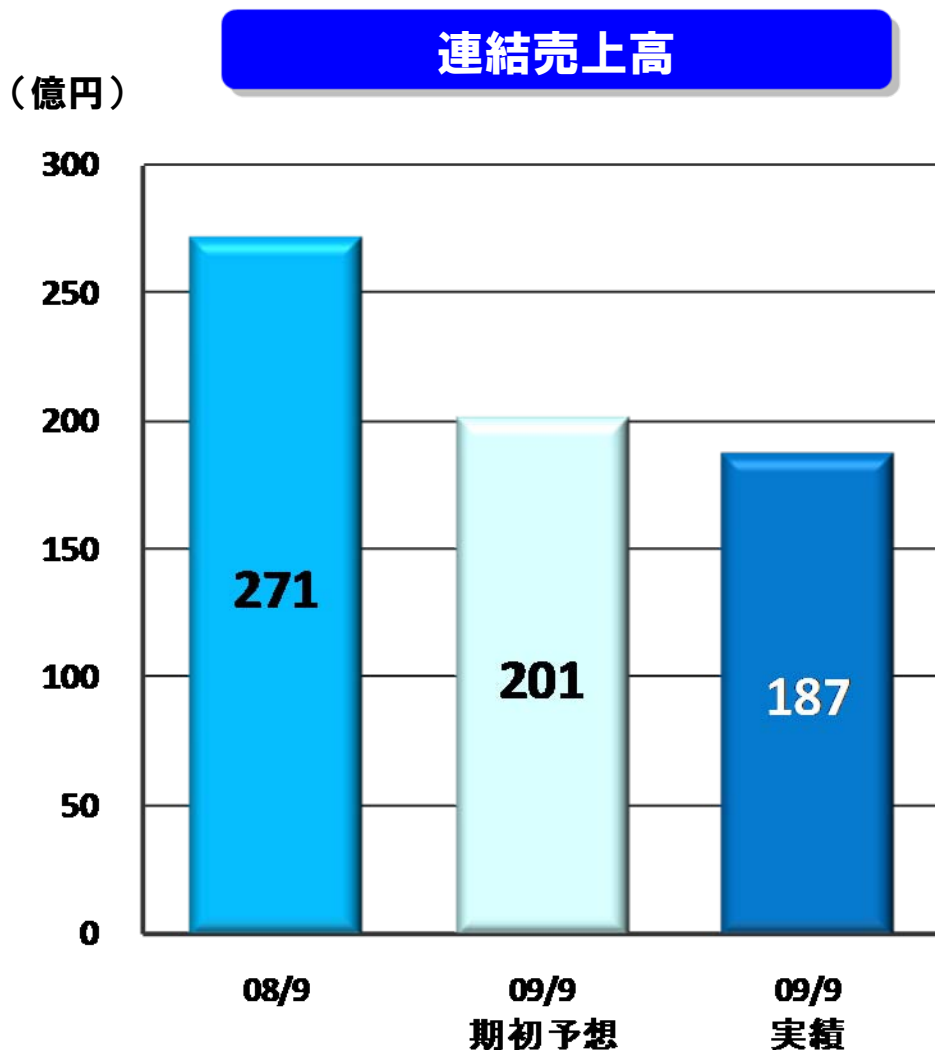
**高周波：自動車関連業界の設備投資需要は依然
として低水準**



移动通信を中心に、事業環境は大幅に変化

連結決算の要約（売上高）

■ 上期売上高は前年同期比・期初予想比共に減収



前年同期比

84億円(31.0%)減収

電気通信部門における、
移動通信向け需要および
高周波部門の需要の減少が
主な要因

期初予想比

14億円(6.8%)減収

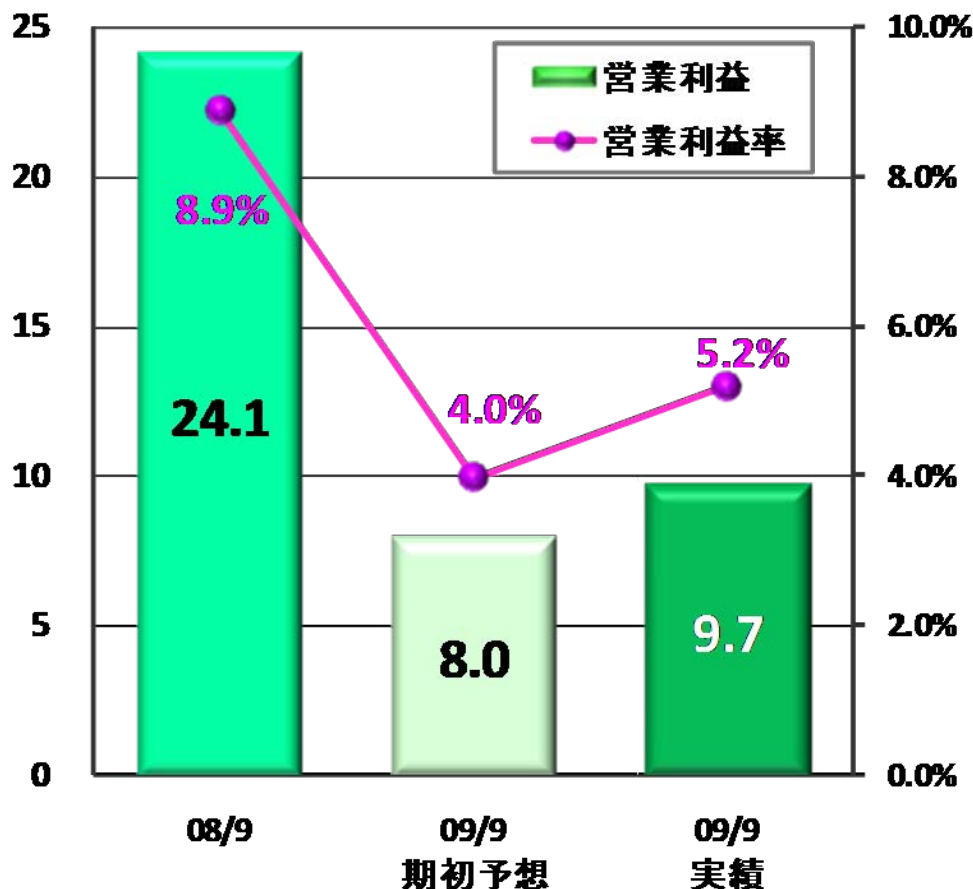
電気通信部門において、
移動通信向け製品の需要が
想定以上に落ち込んだことが
主な要因

連結決算の要約（営業利益）

■ 上期営業利益は前年同期比減益、期初予想比は増益を確保

連結営業利益

(億円)



前年同期比

14.4億円(59.7%)減益

電気通信部門において、
移动通信向け製品の需要が
想定以上に落ち込んだことが
主な要因

期初予想比

1.7億円(21.6%)増益

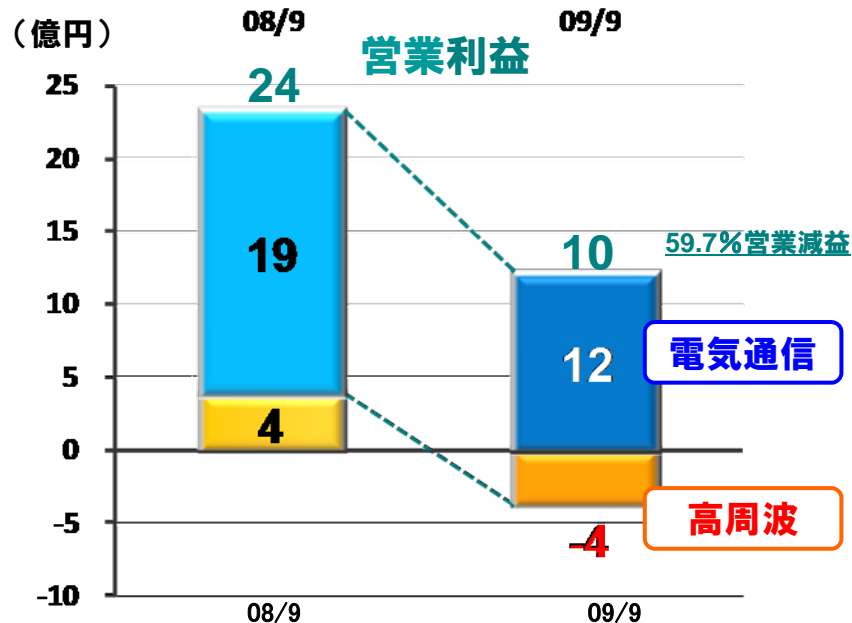
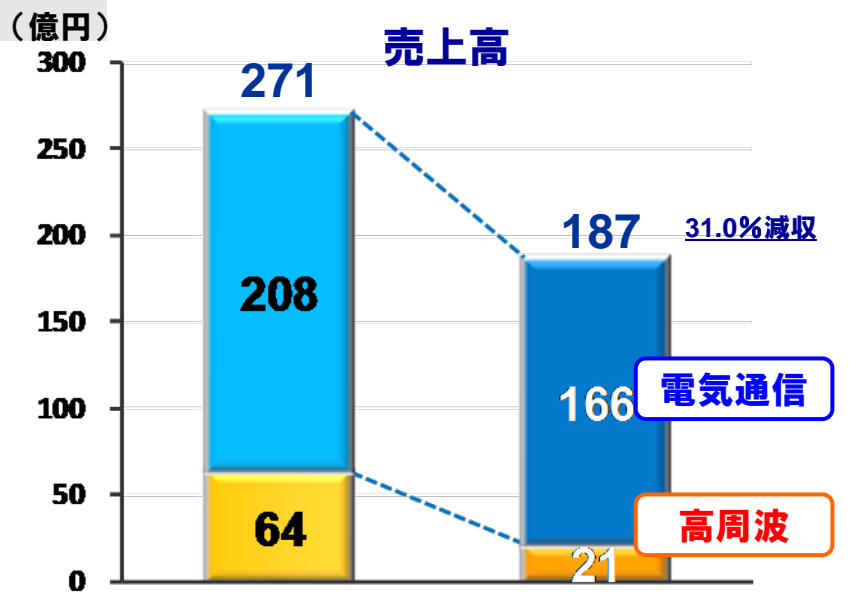
電気通信部門において、
連結子会社を含めた放送関
連の業績が好調であったこと
が主な要因

損益計算書の概況【連結】

(単位：百万円)

連結	2008/9	2009/9		前期比		期初予想比	
	実績	期初予想	実績	増減額	増減率	増減額	増減率
売上高	27,128	20,100	18,731	-8,397	-31.0%	-1,369	-6.8%
売上原価	21,946	—	14,991	-6,955	-31.7%	—	—
売上総利益	5,181	—	3,739	-1,442	-27.8%	—	—
販売費及び一般管理費	2,767	—	2,766	-1	0.0%	—	—
営業利益	2,413	800	973	-1,440	-59.7%	173	21.6%
売上高営業利益率	8.9%	4.0%	5.2%	—	—	—	—
経常利益	2,608	900	1,137	-1,471	-56.4%	237	26.3%
売上高経常利益率	9.6%	4.5%	6.1%	—	—	—	—
四半期純利益	1,445	300	588	-857	-59.3%	288	96.0%

セグメント別業績【連結】



(単位：百万円)

連結	08/9	09/9	増減額	増減率
売上高	27,128	18,731	-8,397	-31.0%
電気通信	20,767	16,618	-4,149	-20.0%
高周波	6,353	2,109	-4,244	-66.8%
営業利益	2,413	973	-1,440	-59.7%
電気通信	1,941	1,213	-728	-37.5%
高周波	384	-377	-761	—
営業利益率	8.9%	5.2%		
電気通信	9.3%	7.3%		
高周波	6.0%	—		

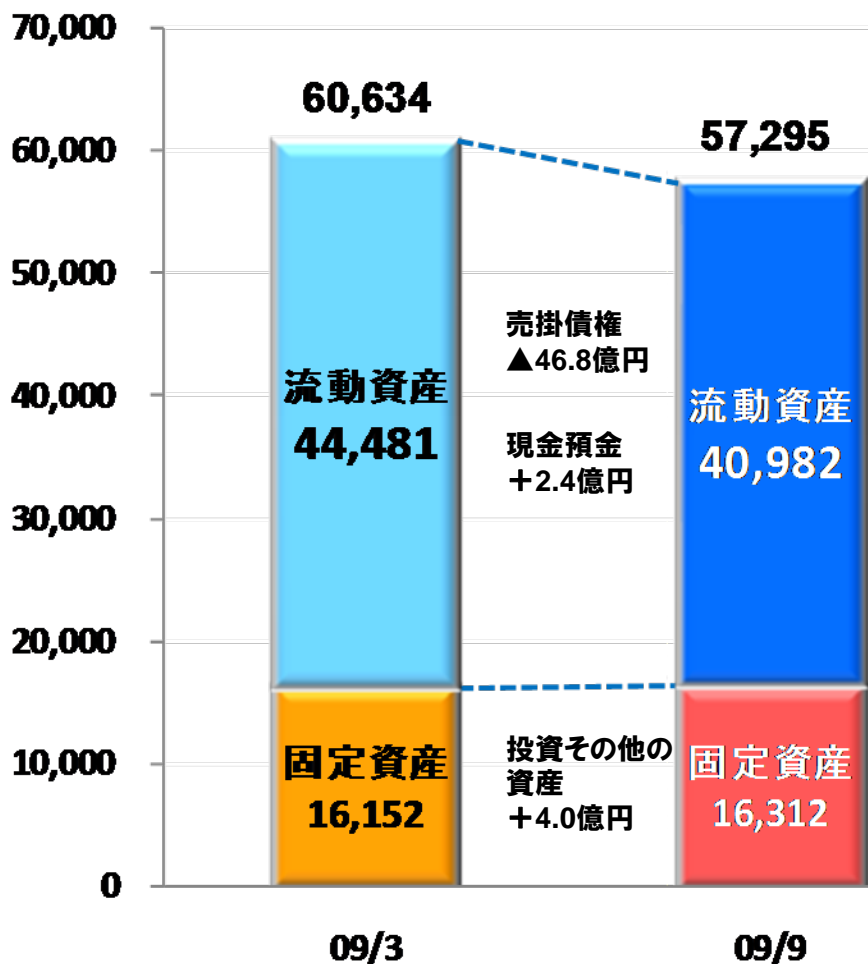
※ 設備貸付および全社セグメントは省略

電気通信部門、高周波部門ともに減収減益。
高周波部門は営業赤字に

貸借対照表の概況【連結】

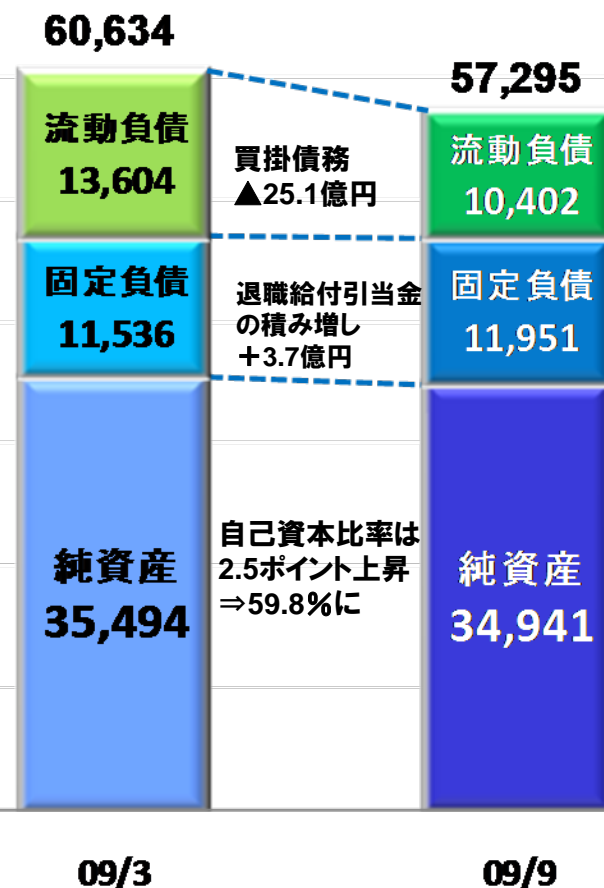
資産の部

(単位:百万円)



負債・純資産の部

(単位:百万円)

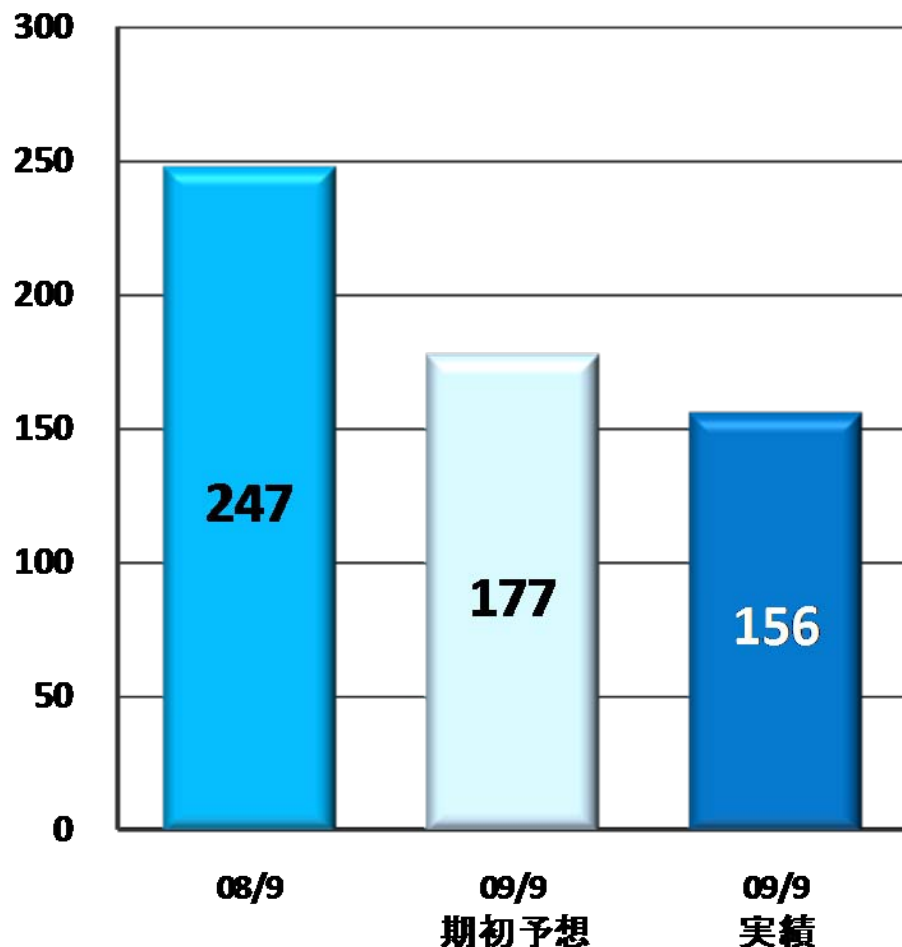


単体決算の要約（売上高・営業利益）

単体売上高

前年同期比：36.9%減収
期初予想比：11.9%減収

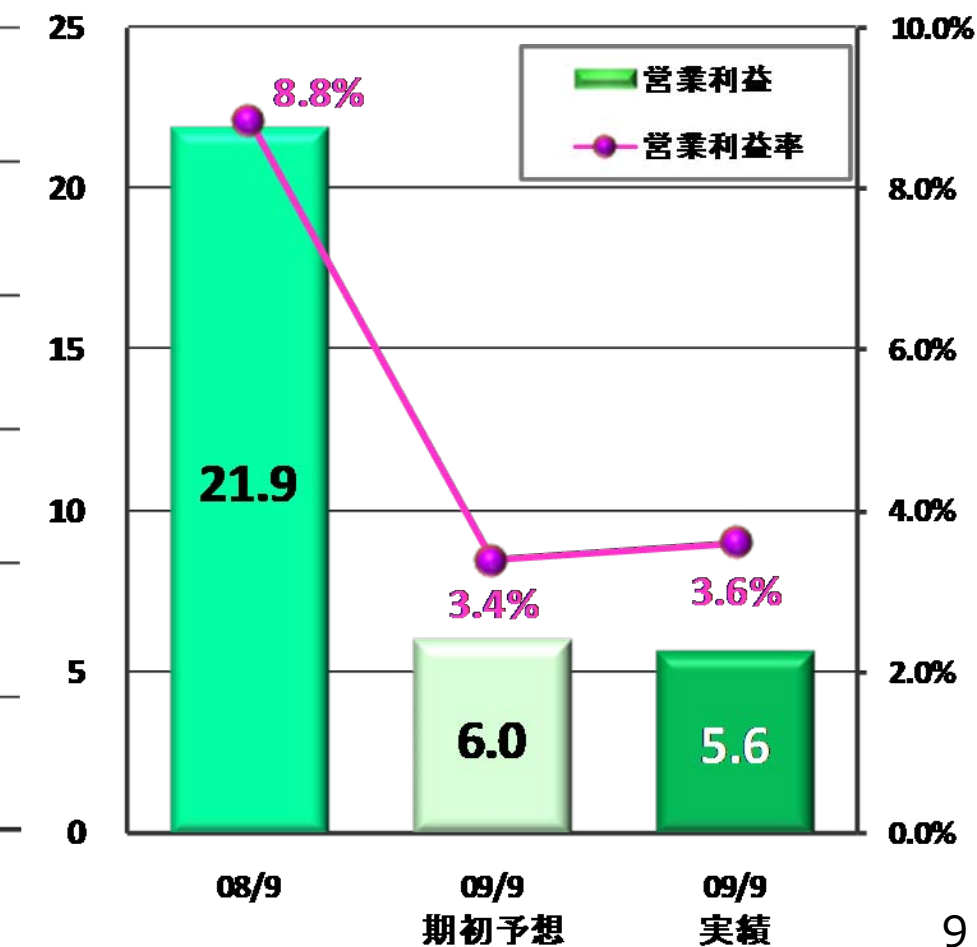
(億円)



単体営業利益

前年同期比：74.4%減益
期初予想比：6.7%減益

(億円)



損益計算書の概況【単体】

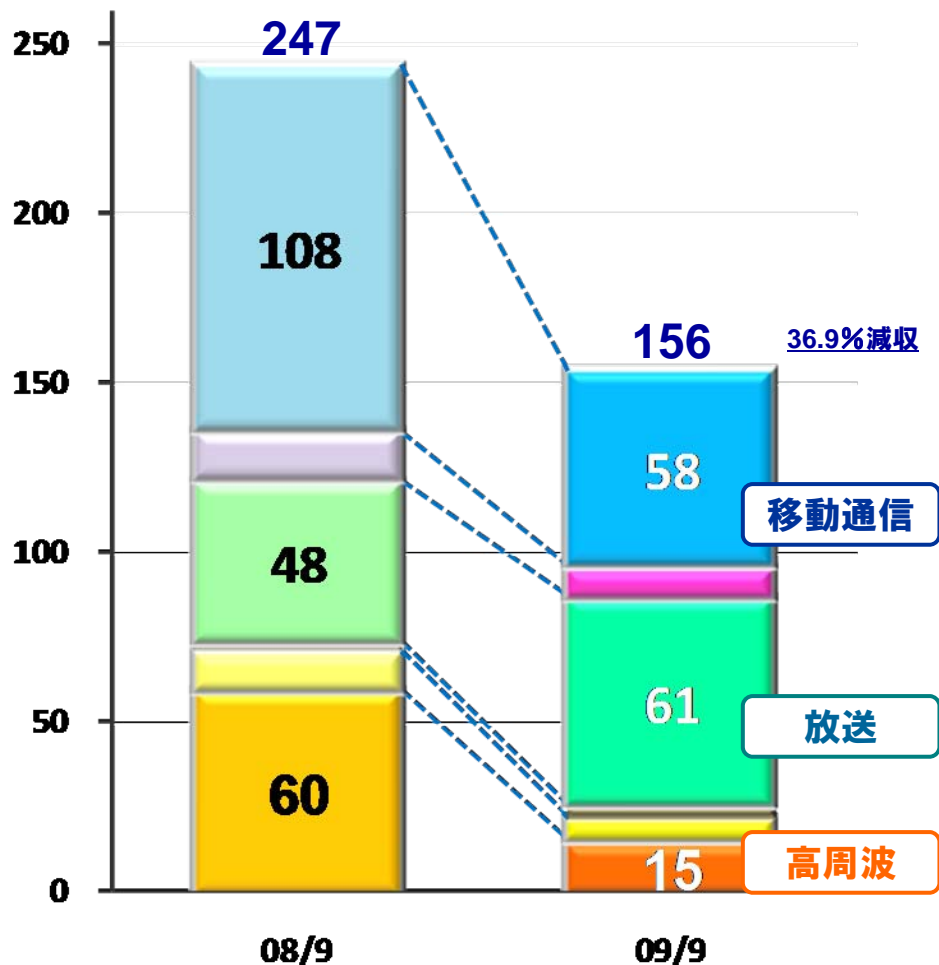
(単位：百万円)

単体	2008/9	2009/9		前期比		期初予想比	
	実績	期初予想	実績	増減額	増減率	増減額	増減率
売上高	24,717	17,700	15,595	-9,122	-36.9%	-2,105	-11.9%
売上原価	20,374	—	12,851	-7,523	-36.9%	—	—
売上総利益	4,343	—	2,744	-1,599	-36.8%	—	—
販売費及び一般管理費	2,157	—	2,183	26	1.2%	—	—
営業利益	2,185	600	560	-1,625	-74.4%	-40	-6.7%
売上高営業利益率	8.8%	3.4%	3.6%	—	—	—	—
経常利益	2,361	750	834	-1,527	-64.7%	84	11.2%
売上高経常利益率	9.6%	4.2%	5.3%	—	—	—	—
四半期純利益	1,322	400	479	-843	-63.8%	79	19.8%

セグメント別売上高【単体】

- 電気通信・高周波とも減収。電気通信では放送が増収を確保も、移動通信の減収の影響が大きい

(億円)



(単位：百万円)

単体	08/9	09/9	増減額	増減率
売上高	24,717	15,595	-9,122	-36.9%
電気通信	18,411	13,865	-4,546	-24.7%
移動通信	10,775	5,772	-5,003	-46.4%
固定無線	1,459	914	-545	-37.4%
放送	4,750	6,127	1,377	29.0%
有線放送	256	376	120	46.9%
その他	1,167	673	-494	-42.3%
高周波	5,972	1,530	-4,442	-74.4%
誘導加熱装置	4,614	1,033	-3,581	-77.6%
熱処理加工	1,358	497	-861	-63.4%

※ 設備貸付セグメントは省略 11

2. 主要3事業の動向

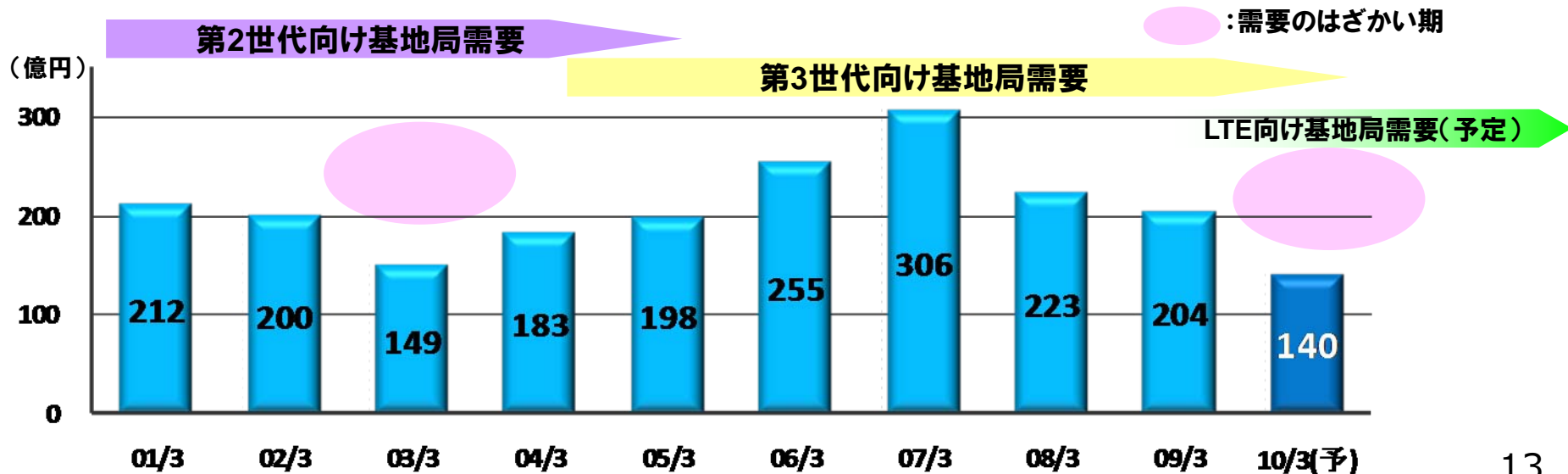
第3世代とLTE(3.9世代)との需要のはざかい期

- ◆ LTE等の次世代の設備投資需要は2011年以降に予定。需要のはざかい期に入り、基地局需要は減少

堅調に推移していたアンテナ需要が減少傾向に

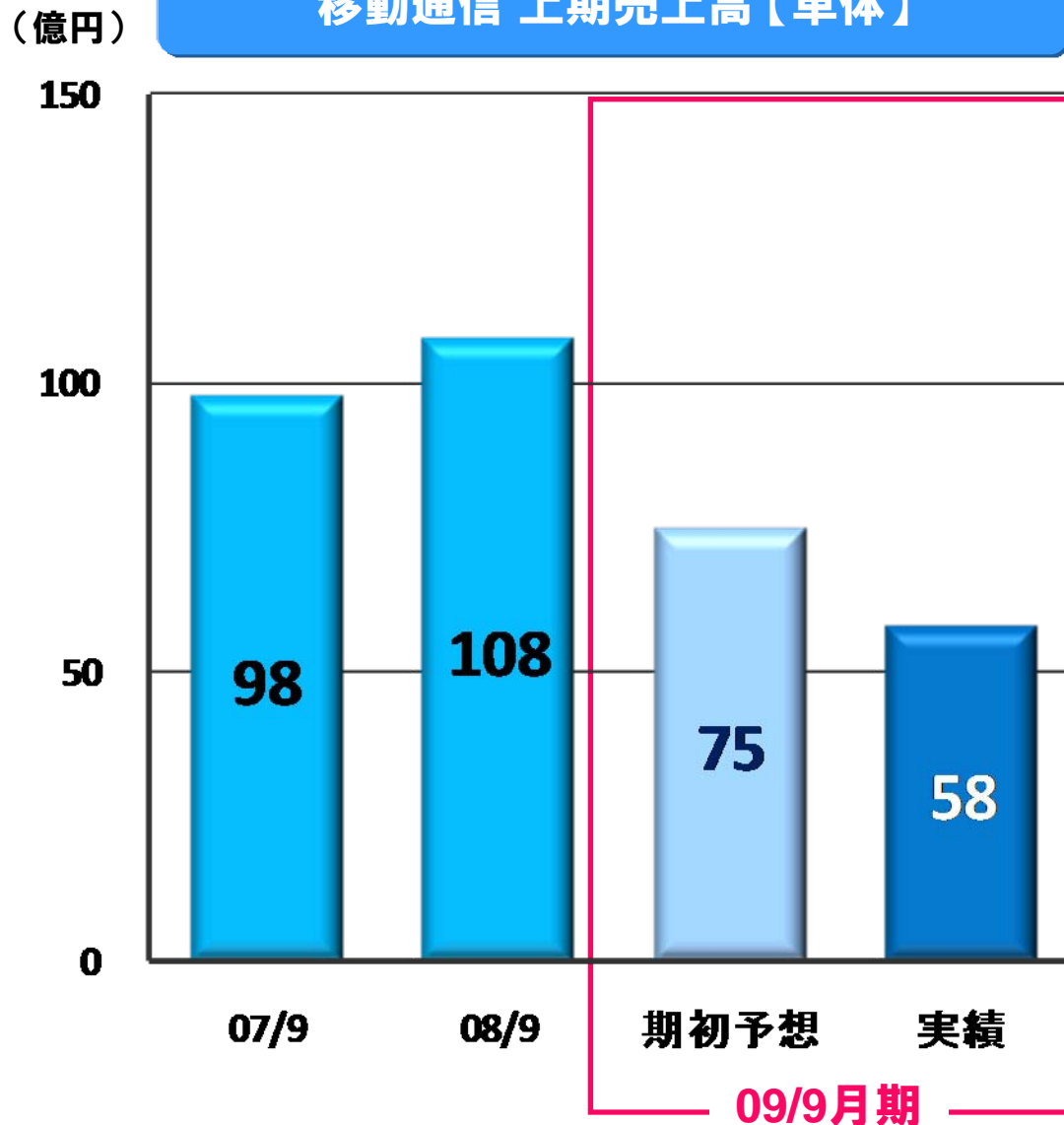
- ◆ 通信品質向上のためのアンテナ需要も減少傾向が表面化

■ 移动通信設備投資需要と当社移动通信セグメントの売上推移



移动通信 — 上期の業績

移动通信 上期売上高【単体】



前年同期比 46.4%減収

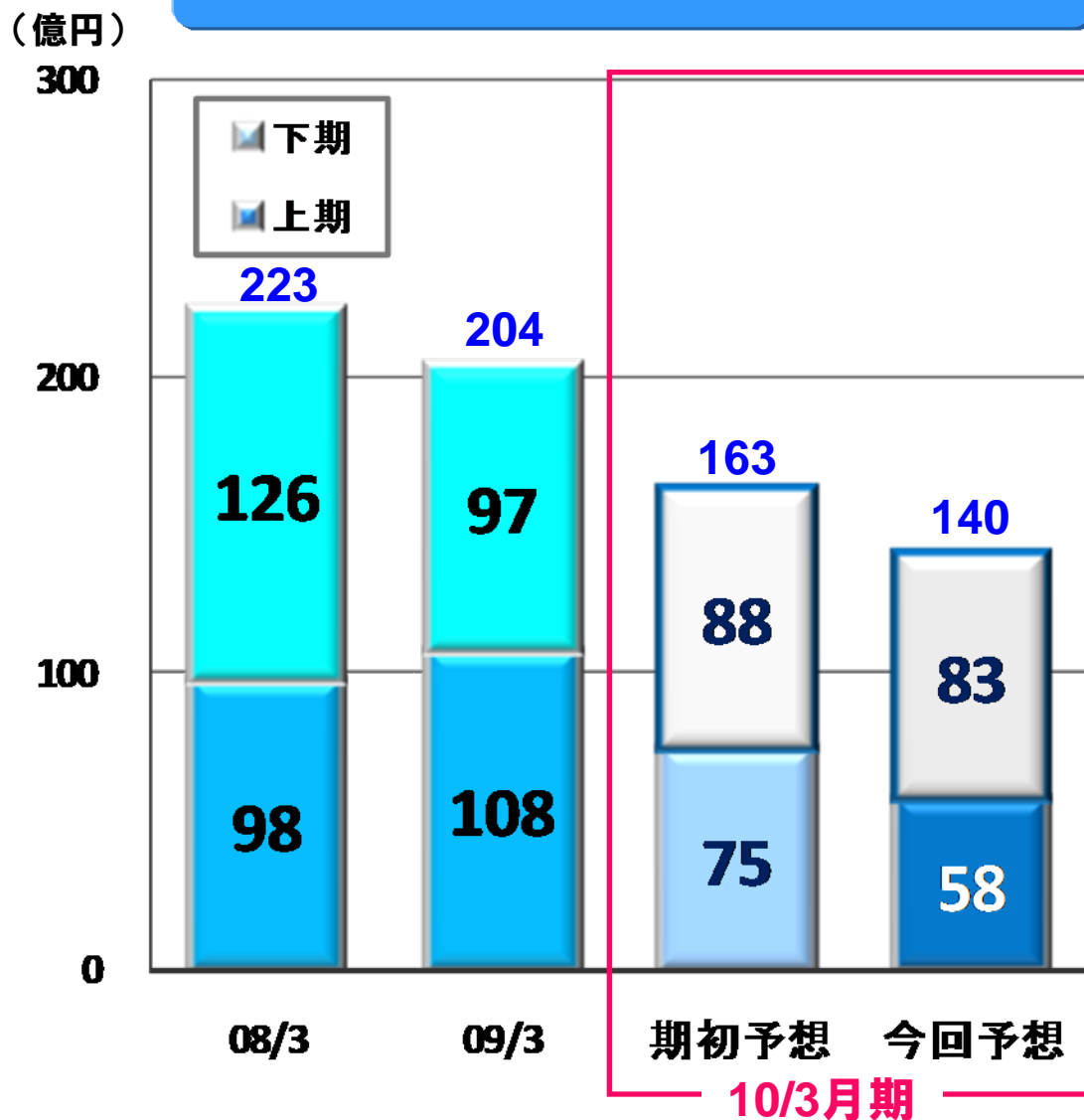
前期(08/3期)が上期偏重の売上構成だったことに加え、需要のはざかい期のため、キャリア各社による設備投資需要は、アンテナ・鉄塔・工事ともに減少傾向

期初予想比 22.8%減収

アンテナ需要の落ち込みが想定以上であったことに加え、移动通信用鉄塔の納品の一部が下期以降にずれたことも要因

移动通信 — 通期の見通し

移动通信 売上高【単体】



前期比 31.5%減収

鉄塔・工事に加えアンテナの
需要減少も表面化。
価格競争も激化

期初予想比 13.8%減収

上期の厳しい事業環境が下
期も継続することを想定

2010年サービス開始予定の
ドコモを始め、KDDI・ソフトバン
クもLTEサービス開始を公表も
設備投資は来期以降に

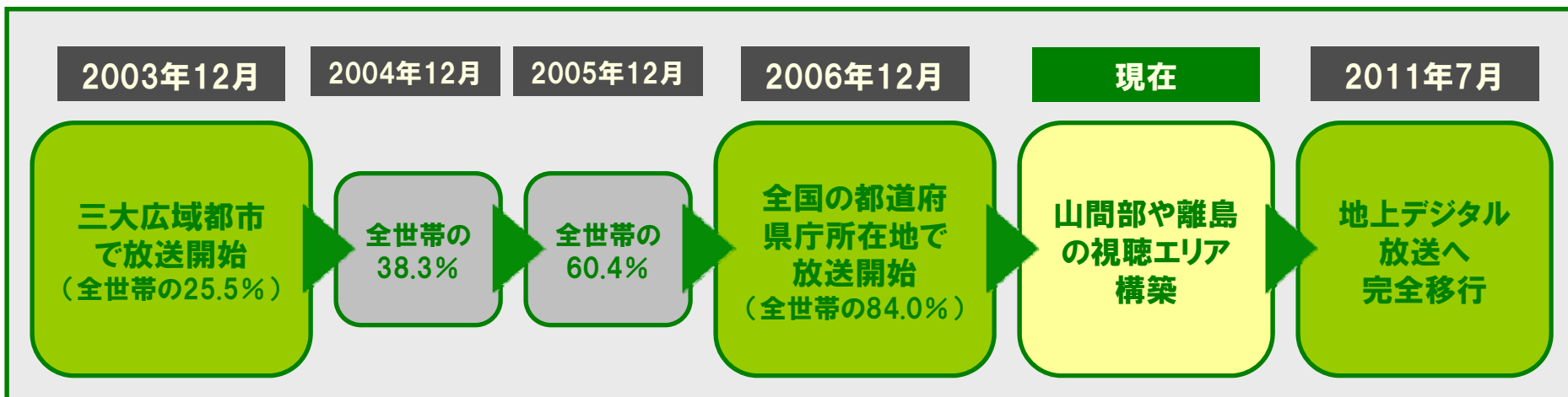
デジタル化へ向け、放送各社の設備投資が継続

- ◆ 2011年7月の地上デジタル放送への完全切替に向けて、設備投資は高水準で継続

デジタル放送のエリア構築は山間部や離島に

- ◆ デジタル放送視聴可能エリアの構築は、現在、山間部や離島にまで進んでいる

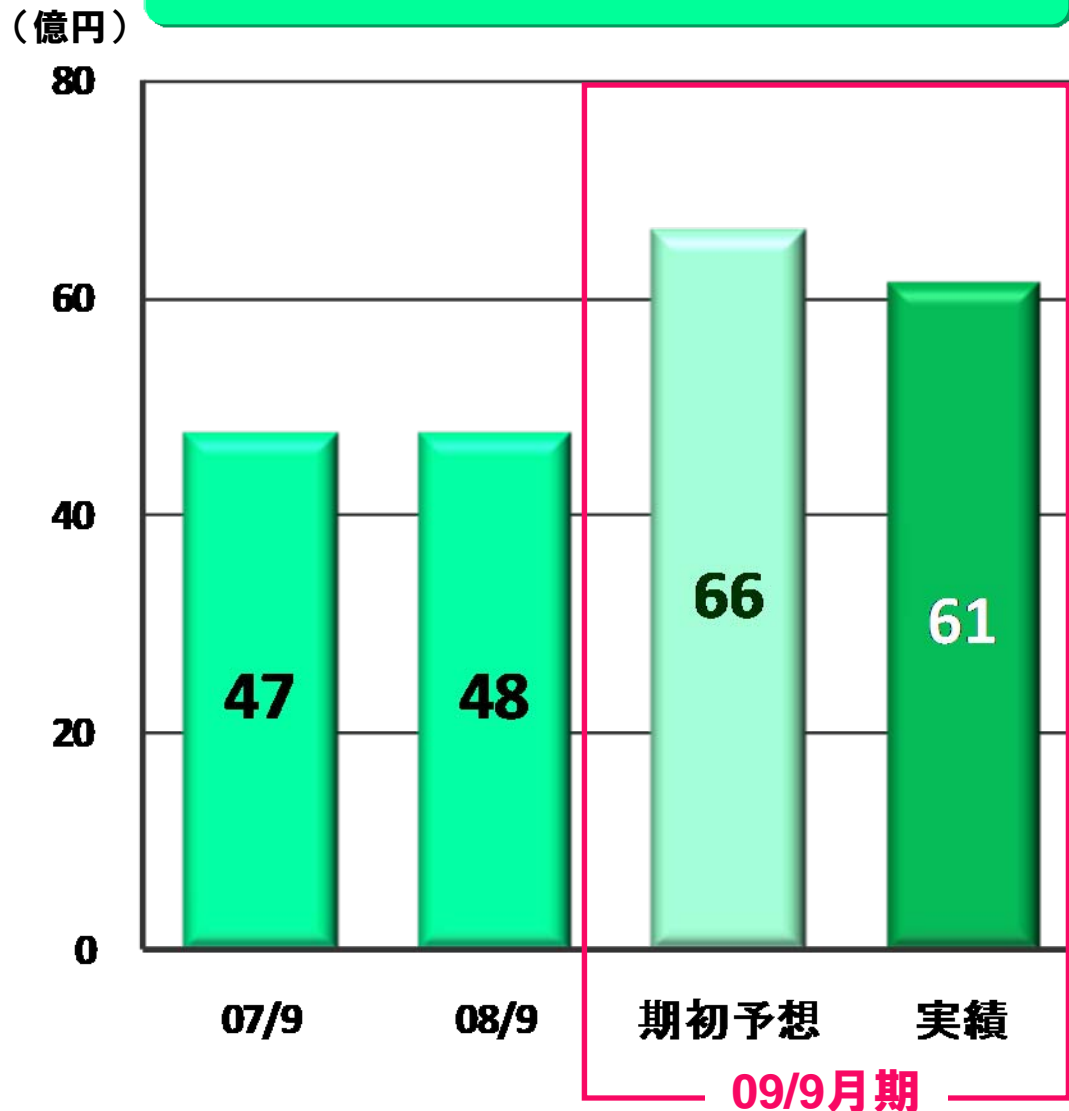
■ 地上デジタル放送視聴可能エリアの推移



(出所) 視聴可能世帯の割合は総務省webサイトより

放送 — 上期の業績

放送 上期売上高【単体】



前年同期比 29.0%増収

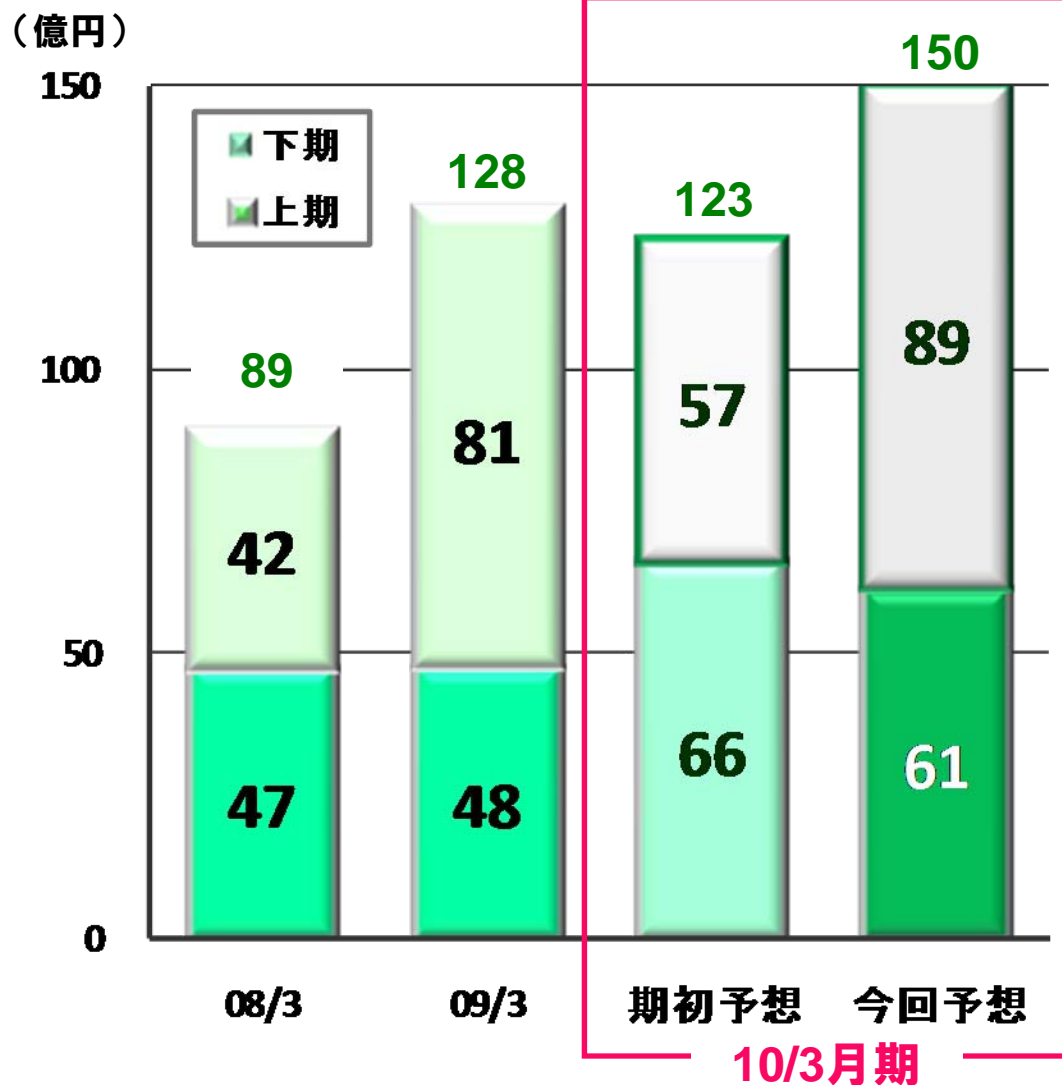
放送事業者による地上デジタル放送向け中継局の建設は急ピッチで行われている

期初予想比 7.3%減収

一部案件の売上計上が下期以降にずれたことが影響も、ほぼ当初想定通りに進捗

放送 — 通期の見通し

放送 売上高【単体】



前期比 16.9%増収

中継局建設需要は引き続き高水準、放送セグメントでは過去最高の売上高を予想

期初予想比 22.1%増収

デジタル化は離島や山間部まで進捗。難所における工事のため、工事受注金額が想定より増加

自動車関連業界の設備投資は依然として低水準

- ◆ 一時に比べ生産に回復の兆しがあるものの、設備投資の抑制は継続

設備投資の抑制から誘導加熱装置への需要は厳しい水準が継続

- ◆ 前下期の受注急減の影響から、誘導加熱装置の事業環境は厳しい

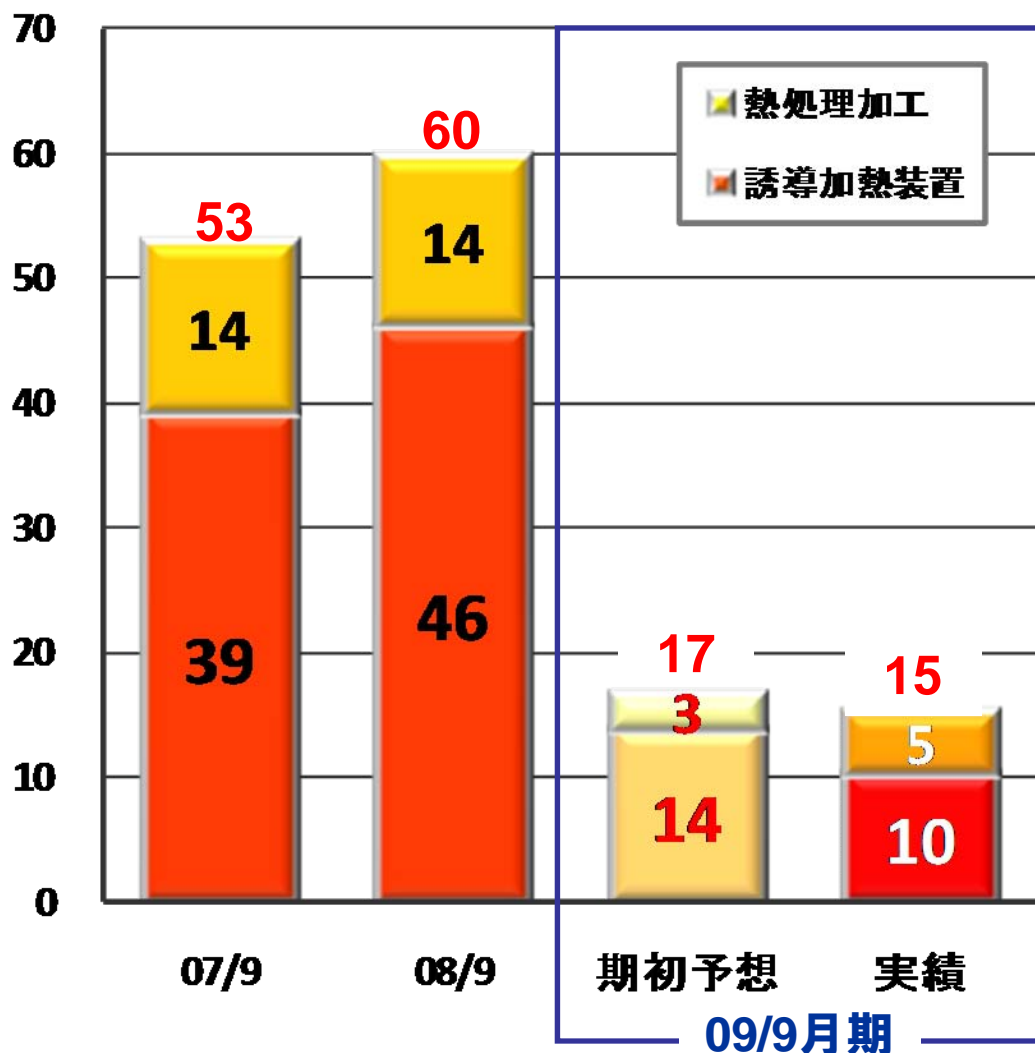
自動車関連の生産回復傾向により、熱処理加工の需要は回復の兆し

- ◆ 熱処理加工は、組織変更に伴い子会社へ移管されたため、単体業績への影響は限定的

高周波 ー 上期の業績

高周波 上期売上高【単体】

(億円)



前年同期比 74.4%減収

誘導加熱装置、熱処理加工ともに自動車関連業界等の不況から需要は前期に比べ大幅に減少

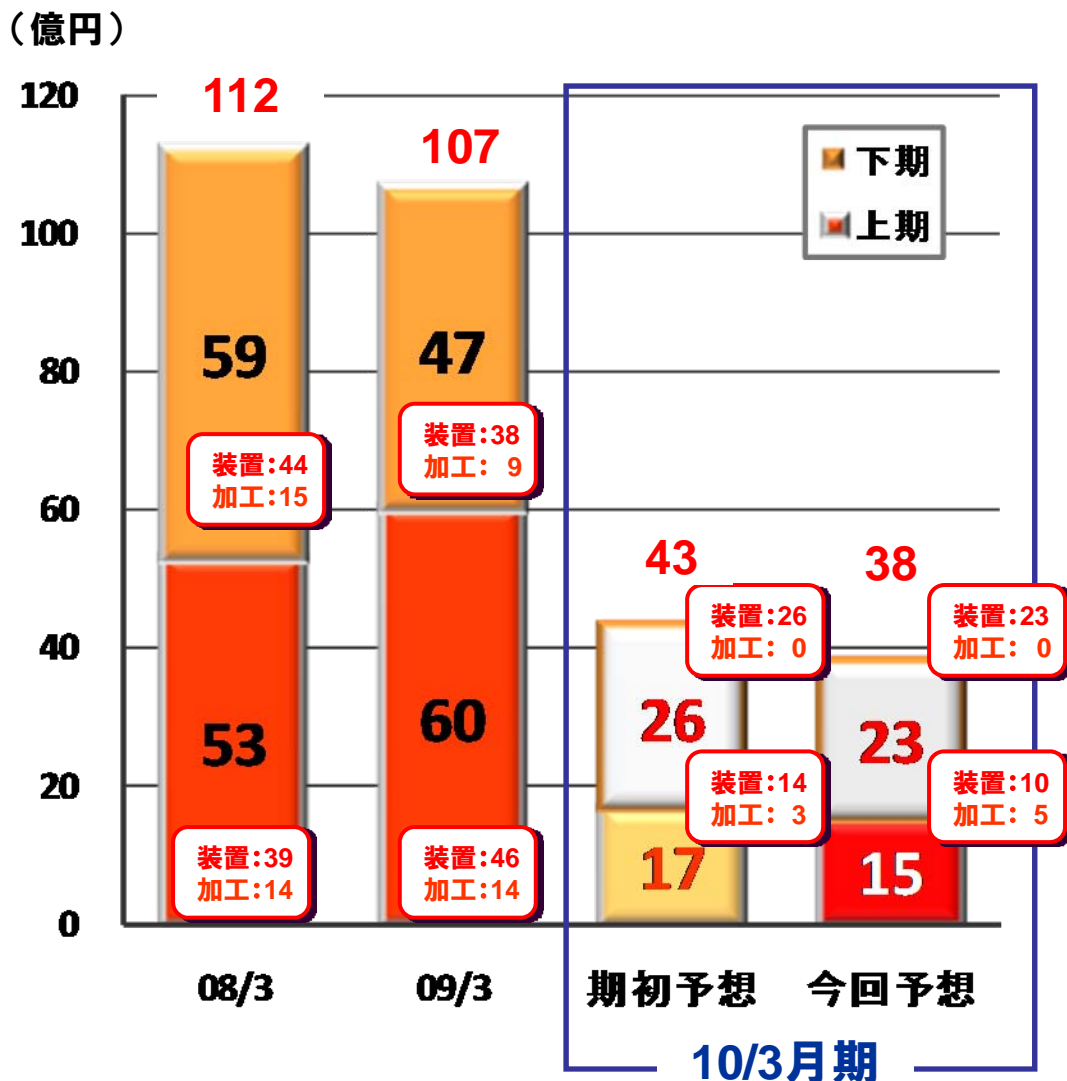
期初予想比 8.3%減収

期初時点から売上の大幅な減少は想定も、誘導加熱装置の売上が当初想定以上に減少

自動車関連業界以外の建設機械・一般機械向けの需要も非常に厳しい水準

高周波 — 通期の見通し

高周波 売上高【単体】



前期比 64.3%減収

誘導加熱装置の売上は上期を底に下期から回復も、自動車関連業界による設備投資需要は引き続き低水準

期初予想比 10.1%減収

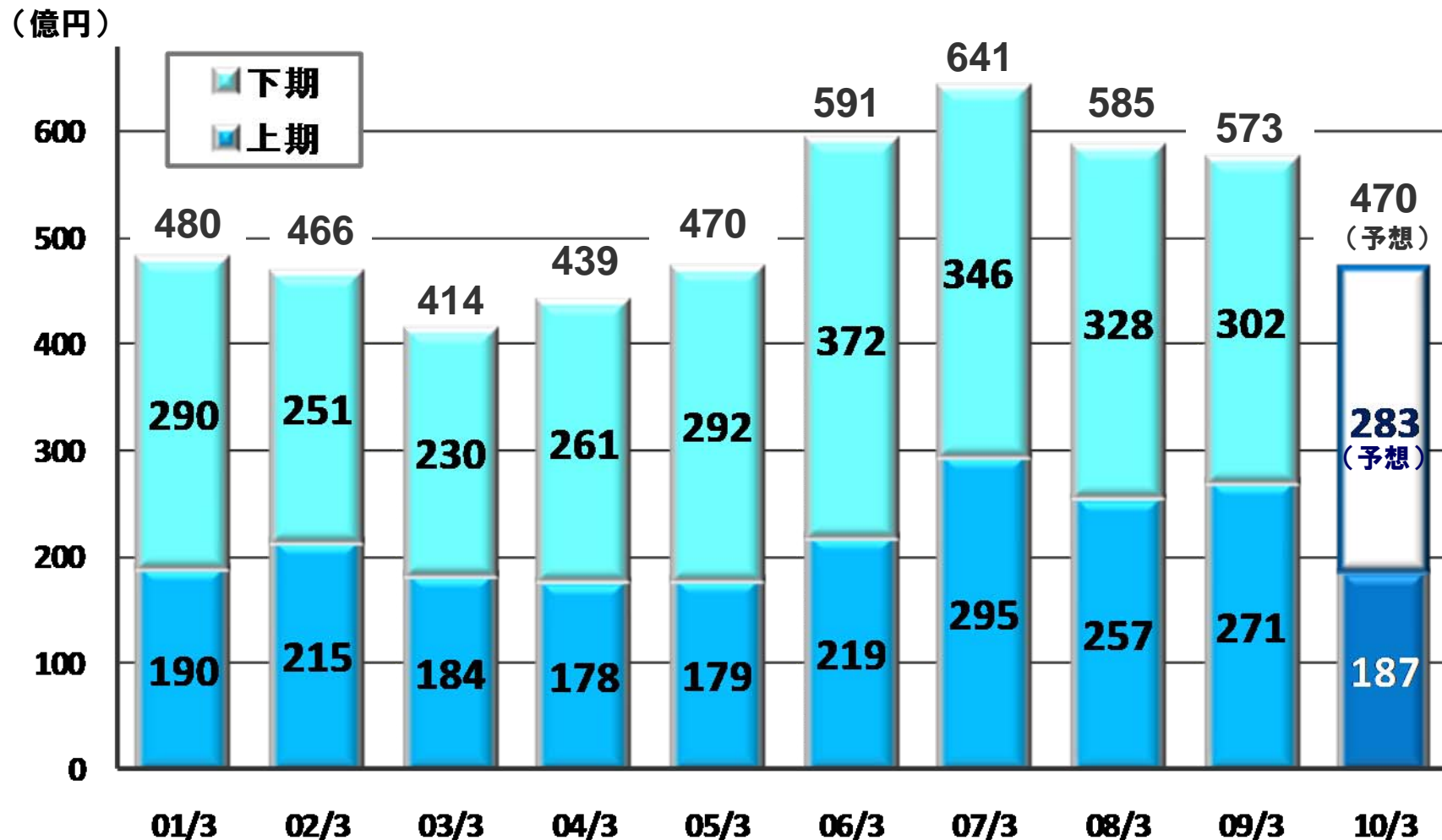
誘導加熱装置の回復は当初想定よりやや遅れる見通し

熱処理加工の受注環境は回復傾向にあるが、子会社移管に伴い、下期の売上高は単体ベースではゼロに

3. 全体業績見通し

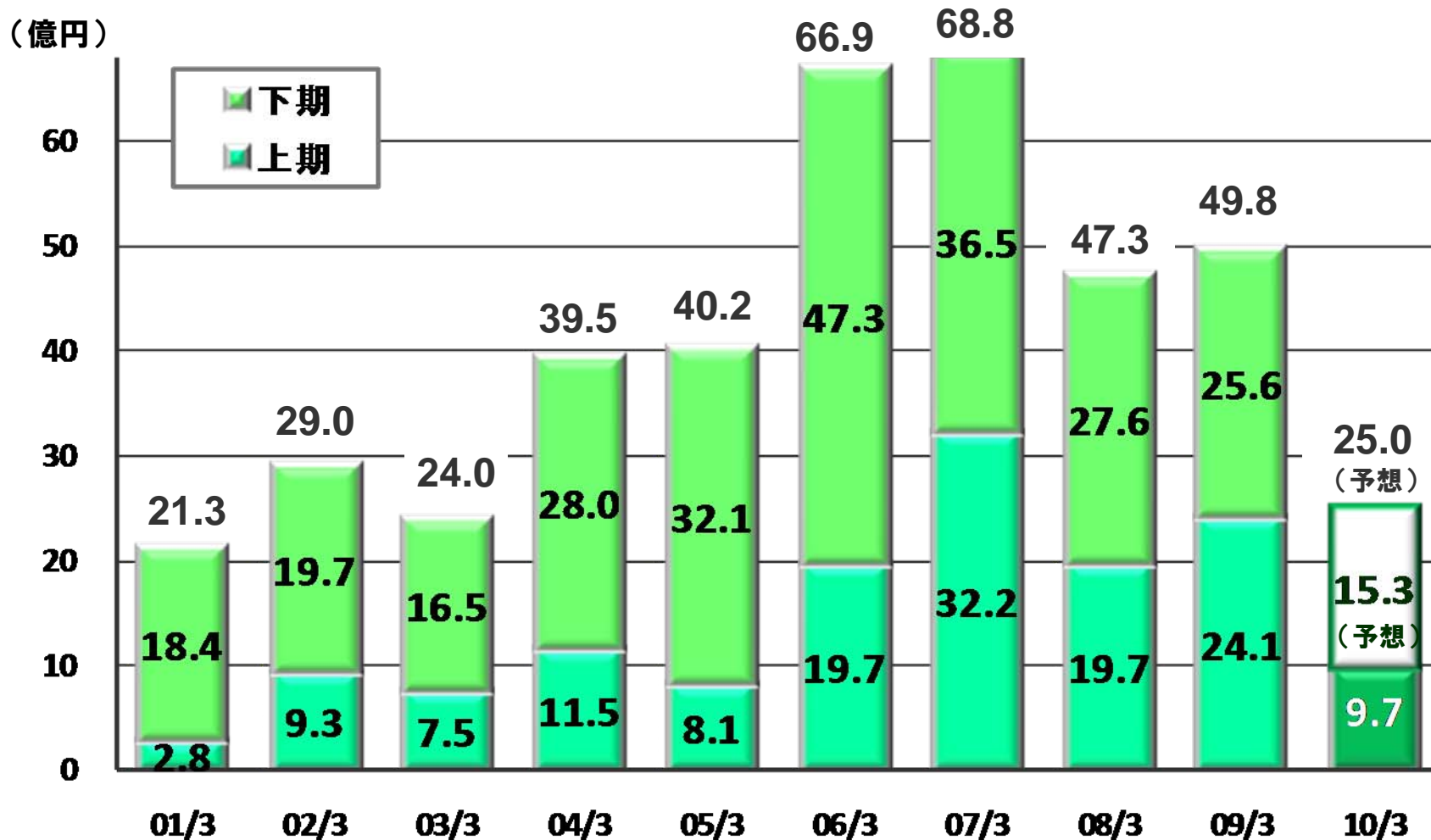
売上高の推移【連結】

- 売上高は移動通信向け需要が活況となる以前の05/3期の水準に



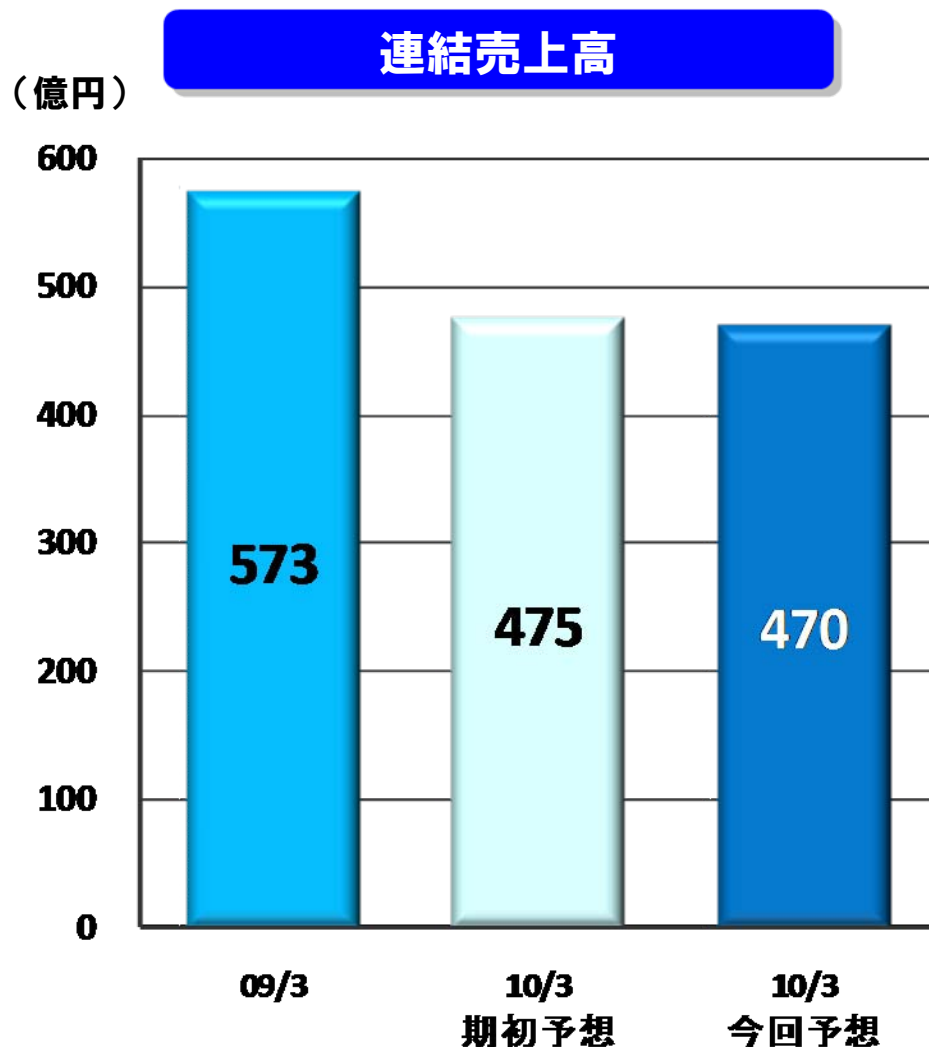
営業利益の推移【連結】

- 営業利益も減収の影響を受け、需要のはざかい期の水準に



連結業績見通しの要約（売上高）

■ 売上高見通しは前年同期比・期初予想比共に減収



前年同期比

103億円(17.9%)減収

電気通信部門における、移動通信向け需要および高周波部門の需要の減少が主な要因

期初予想比

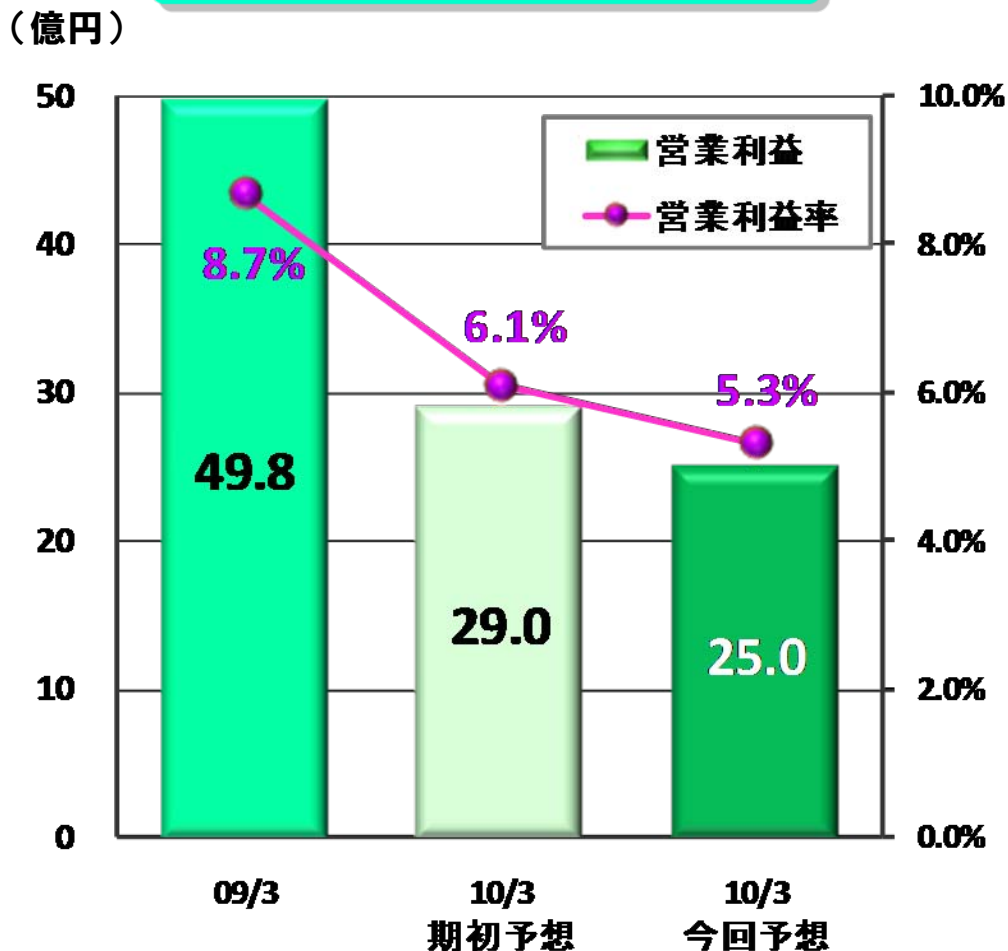
5億円(1.1%)減収

上期同様に、電気通信部門における、移動通信向け製品の需要が想定以上に落ち込むことが主な要因

連結業績見通しの要約（営業利益）

■ 営業利益見通しも前年同期比・期初予想比共に減益

連結営業利益



前年同期比

24.8億円(49.7%)減益

移动通信および高周波部門の減収の影響を受け、営業減益

期初予想比

4億円(13.8%)減益

移动通信の減収に加え、高周波部門の誘導加熱装置の減収に伴う収益性の悪化が主要因

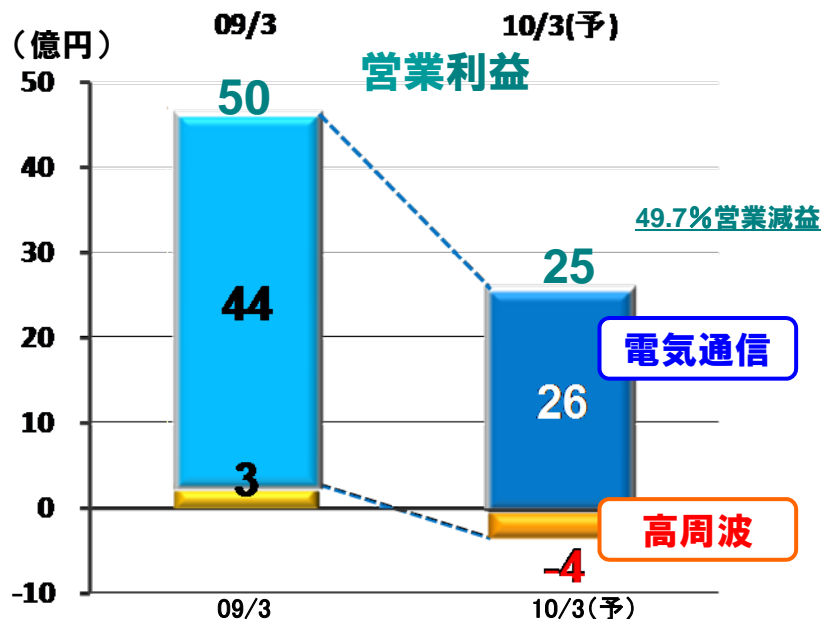
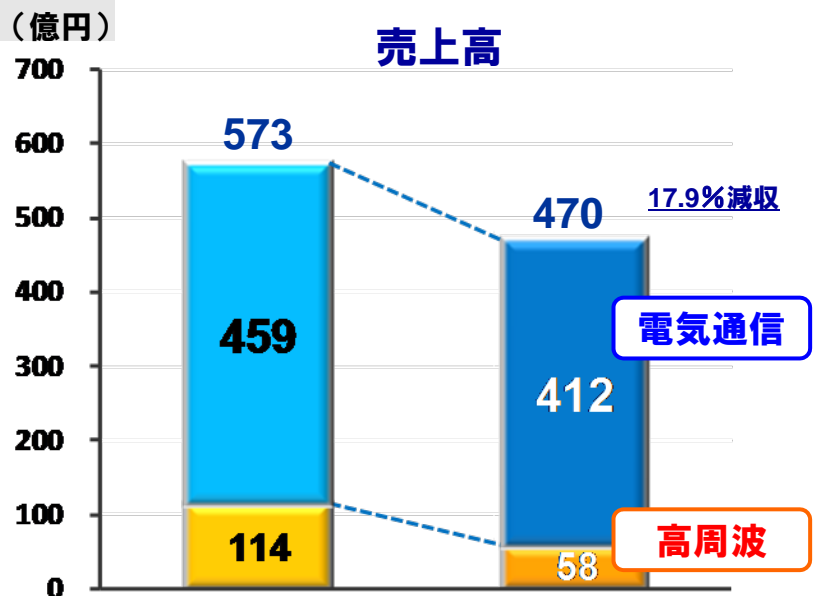
業績見通しの概況【連結】

(単位：百万円)

連結

	2009/3	2010/3		前期比		期初予想比	
	実績	期初予想	今回予想	増減額	増減率	増減額	増減率
売上高	57,281	47,500	47,000	-10,281	-17.9%	-500	-1.1%
電気通信	45,870	42,500	41,200	-4,670	-10.2%	-1,300	-3.1%
高周波	11,399	5,000	5,800	-5,599	-49.1%	800	16.0%
営業利益	4,975	2,900	2,500	-2,475	-49.7%	-400	-13.8%
売上高営業利益率	8.7%	6.1%	5.3%	—	—	—	—
経常利益	5,192	3,050	2,750	-2,442	-47.0%	-300	-9.8%
売上高経常利益率	9.1%	6.4%	5.9%	—	—	—	—
当期純利益	2,163	1,400	1,250	-913	-42.2%	-150	-10.7%
ROE	6.1%	4.1%	3.6%	—	—	—	—

セグメント別業績【連結】



(単位：百万円)

連結	09/3	10/3	増減額	増減率
売上高	57,281	47,000	-10,281	-17.9%
電気通信	45,870	41,200	-4,670	-10.2%
高周波	11,399	5,800	-5,599	-49.1%
営業利益	4,975	2,500	-2,475	-49.7%
電気通信	4,353	2,600	-1,753	-40.3%
高周波	271	-350	-621	—
営業利益率	8.7%	5.3%		
電気通信	9.5%	6.3%		
高周波	2.4%	-6.0%		

※ 設備貸付および全社セグメントは省略

電気通信部門、高周波部門ともに減収減益。
高周波部門は通期見通しでも営業赤字となる見通し

業績見通しの概況【単体】

(単位：百万円)

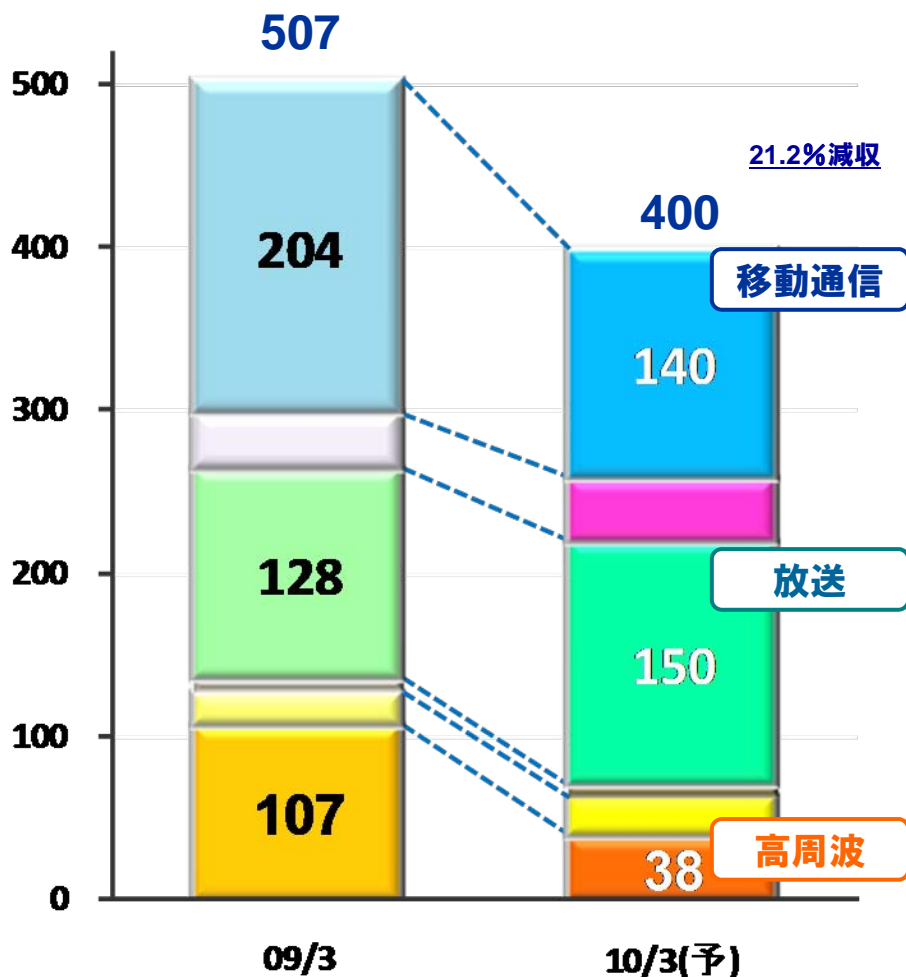
単体	2009/3	2010/3		前期比		期初予想比	
	実績	期初予想	今回予想	増減額	増減率	増減額	増減率
売上高	50,773	41,000	40,000	-10,773	-21.2%	-1,000	-2.4%
電気通信	39,607	36,700	35,800	-3,807	-9.6%	-900	-2.5%
高周波	10,659	4,300	3,800	-6,859	-64.3%	-500	-11.6%
営業利益	4,800	2,300	1,700	-3,100	-64.6%	-600	-26.1%
売上高営業利益率	9.5%	5.6%	4.3%	—	—	—	—
経常利益	4,971	2,500	2,000	-2,971	-59.8%	-500	-20.0%
売上高経常利益率	9.8%	6.1%	5.0%	—	—	—	—
当期純利益	2,140	1,300	1,050	-1,090	-50.9%	-250	-19.2%
ROE	6.6%	4.1%	3.3%	—	—	—	—

セグメント別売上高見通し【単体】

■ 放送は大幅増収も、移動通信、高周波の減収が大きく影響

(単位：百万円)

(億円)



単体	09/3	10/3	増減額	増減率
売上高	50,773	40,000	-10,773	-21.2%
電気通信	39,607	35,800	-3,807	-9.6%
移動通信	20,441	14,000	-6,441	-31.5%
固定無線	3,424	3,900	476	13.9%
放送	12,826	15,000	2,174	16.9%
有線放送	888	700	-188	-21.2%
その他	2,025	2,200	175	8.6%
高周波	10,659	3,800	-6,859	-64.3%
誘導加熱装置	8,430	3,300	-5,130	-60.9%
熱処理加工	2,229	500	-1,729	-77.6%

※ 設備貸付セグメントは省略 30

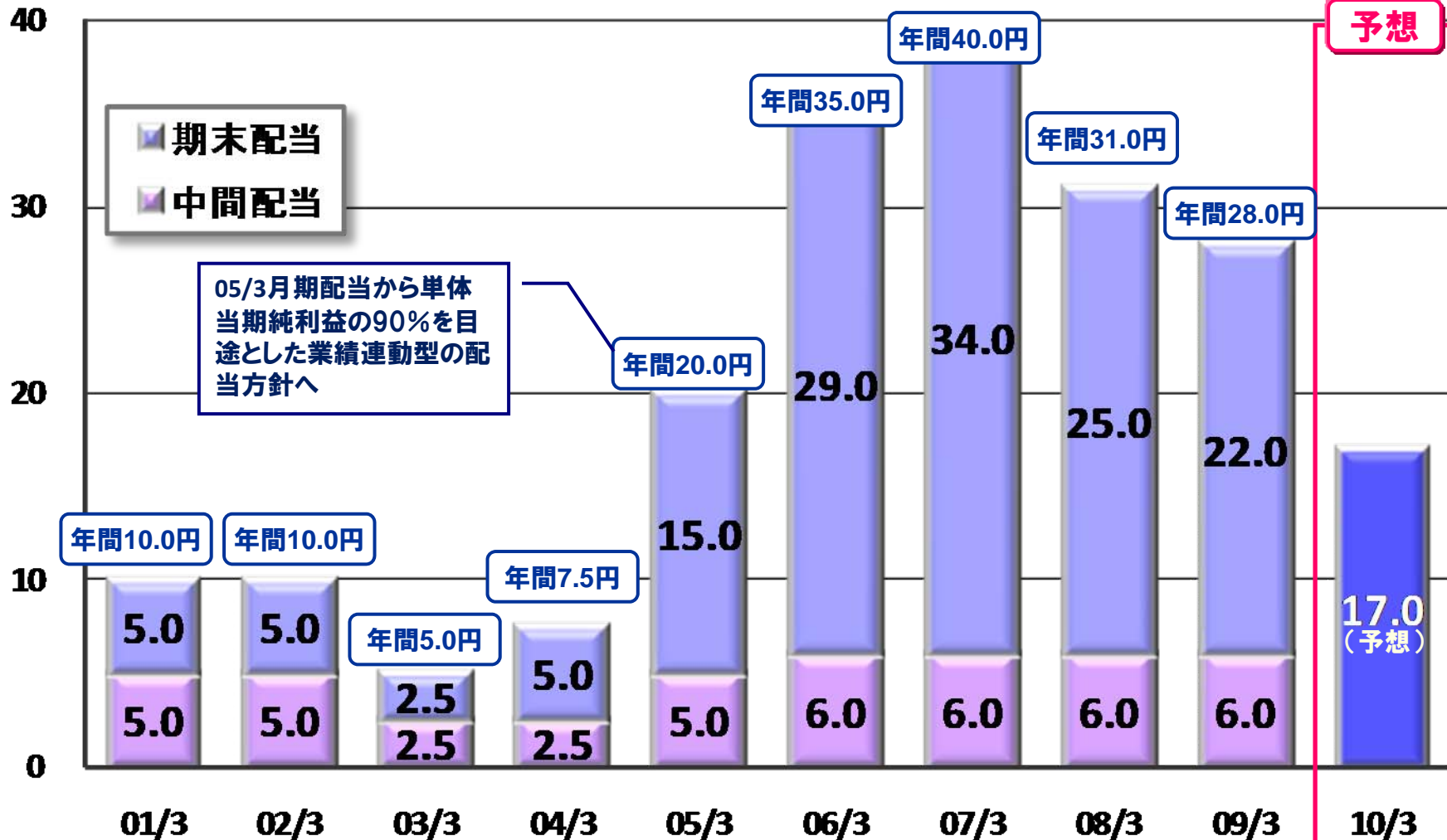
株主還元

10/3期は単体純利益の90%を目途とした配当を予定

※中間配当金につきましては事業環境を考慮し見送らせていただきました。

なお、期末配当金につきましては、暫定的な数字であります。

(円)



この資料の数値のうち、過去の事実以外の計画、方針、その他の記載にかかわるものは、将来の業績にかかる予想値であり、それらはいずれも、現時点において当社が把握している情報に基づく経営上の想定や見解を基礎に算出されたものです。従いまして、かかる予想値は、リスクや不確定要因を含むものであって、現実の業績は諸々の要因により、かかる予想値と異なってくる可能性があります。かかる潜在的リスクや不確定要因としましては、主要市場の経済状況および製品需要の変動、為替相場の変動、国内外の各種規制ならびに会計基準・慣行などの変更等が含まれます。